

## 引用文献・資料等

### 第2章

- (1) 田中和広、千木良雅弘：「わが国の地質環境の長期的変動特性評価（その1）- 将来予測の基本的考え方と課題 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U96027（1997）
- (2) 田中和広、遠田晋次、上田圭一、千木良雅弘：「わが国の地質環境の長期的変動特性評価（その2）- 隆起・沈降特性評価手法の提案と適用性検討 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U96028（1997）
- (3) 近藤浩文、田中和広、金子克哉：「わが国の地質環境の長期的変動特性評価（その3）- 東北日本を対象とした火山活動の時空分布特性評価 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U97067（1998）
- (4) 幡谷竜太、田中和広：「OSL法、TL法、ESR法による段丘堆積物の年代測定 - 光曝実験と年代既知段丘堆積物の年代測定 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U99063（2000）
- (5) 田中和広、馬原保典、中田英二、長谷川琢磨、宮川公雄、遠田晋次、千木良雅弘：「兵庫県南部地震の地下水挙動」、(財)電力中央研究所 研究報告U99066（2000）
- (6) 五十嵐敏文、田中靖治：「難透水性岩盤の透水および溶質移行特性（その1）- 岩石マトリックス中の透水および溶質移行に関する室内試験 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U95054（1996）
- (7) 木方建造、大山隆弘、馬原保典：「圧密型岩石抽水装置の製作と深部堆積岩への適用」 応用地質、40（1999）
- (8) 馬原保典、田中和広、田中靖治、宮川公雄、谷口公一：「天然溶存希ガスを用いた地下水調査法の提案（その2）- 水中トラック法を用いた溶存ラドン測定による地下水流れの検出 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U95039（1996）
- (9) 宮川公雄、田中和広、井上大栄、大沢英昭、柳澤孝一、山川稔：「東濃鉱山における花崗岩の断列系の特性調査と岩盤評価（その2）- ボアホールテレビジョン装置による深部岩盤割れ目の分布特性 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U91014（1991）
- (10) 宮川公雄、田中靖治、田中和広：「水みち推定を目的としたフローメータ検層の適用性評価」、(財)電力中央研究所 研究報告U91014（1997）
- (11) 田中和広、宮川公雄：「ボアホールテレビジョン装置の地下深部地質調査への適用」 応用地質、32（1992）
- (12) 田中和広、宮川公雄、千木良雅弘、鈴木浩一、駒田広也、河西基、馬原保典、五十嵐敏文、田中靖治、安池慎二：「深部地質・地下水環境の特性評価 - 結晶質岩を対象とした調査・評価法の体系化 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U32（1998）
- (13) 田中靖治、駒田広也、大隅多加志：「高精度多機能型透水試験装置の開発」、(財)電力中央研究所 研究報告U9（1992）
- (14) Tanaka, Y., Motojima, I., "Estimation of spatial distribution of hydraulic conductivities using the data of the crosshole sinusoidal pressure tests" Proc. of the 3rd. Int. Conf.on Nucl. Eng.(1995)
- (15) Komine, H. and Ogata, N. : Prediction for swelling characteristics of compacted bentonite, Canadian Geotechnical Journal, Vol.33, No.1, pp.11-22, 1996.
- (16) Komine, H. and Ogata, N. : Experimental study on swelling characteristics of compacted bentonite, Canadian Geotechnical Journal, Vol.31, No.4, pp.478-490, 1994.
- (17) 小峯秀雄、緒方信英：「高レベル放射性廃棄物処分のための緩衝材・埋戻し材の膨潤評価式の提案 - 砂とベントナイトの配合割合およびベントナイト中の陽イオンの種類・組成の影響 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U99013（1999）
- (18) Komine, H. and Ogata, N. : Experimental study on swelling characteristics of sand-bentonite mixture for nuclear waste disposal, Soils and Foundations, Vol.39, No.2, pp.83-97, 1999.
- (19) 小峯秀雄、緒方信英：「放射性廃棄物処分のための砂・ベントナイト混合材料の膨潤特性とその評価法」、(財)電力中央研究所 研究報告U96029（1997）
- (20) 小峯秀雄、緒方信英、菅原宏：「砂とベントナイトの混合材料の透水係数」、土木学会第46回年次学術講演会講演概要集（第3部門）、pp.884-885、1991.
- (21) Komine, H., Ogata, N. Horie, Y., Ishii, T. and Nishio, S. : Permeability and mechanical properties of bentonite-sand mixture for sealing LLW repositories, Trans. 11th international conference on structural mechanics in reactor technology, Vol.SD1 pp.271-276, 1991.
- (22) 小峯秀雄、緒方信英：「砂・ベントナイト混合材料の長期透水特性」、土木学会第53回年次学術講演会講演概要集（第3部門-B） pp.584-585、1998
- (23) 大江俊昭、塚本政樹、藤田智成：「高レベル廃棄物地層処分の人工バリアシステムの安全評価」、(財)電力中央研究所 総合報告T92、平成5年4月
- (24) 塚本政樹、藤田智成：「入力パラメータ値の分布を考慮した高レベル廃棄物地層処分人工バリア性能の解析」、(財)電力中央研究所 研究報告U96045、平成9年3月
- (25) Ohe, T., Tsukamoto, M., Kinoshita, M., Inoue, T., Analysis of high-level waste glass performance by the physical and geochemical simulation code STRAG4. Waste Management 11, 191(1991)
- (26) JSS Project, JSS Project Phase IV,
- (27) Tsukamoto, M., Ohe, T., Fujita, T., Hesbol, R. and Hermansson, H.-P., Diffusion of radionuclides in

- compacted bentonite : Results from combined glass dissolution and migration tests, Mat. Res. Soc. Symp. Proc. 353, 291 ( 1995 )
- (28) Ohe, T., Tsukamoto, M., Geochemical properties of bentonite pore water in HLW repository condition, Nucl. Technol. 118, 49 ( 1996 )
- (29) 大江俊昭、安俊弘、池田孝夫、菅野毅、千葉保、塚本政樹、中山真一、長崎晋也 : 「高レベル放射性廃棄物処分システムの初期過渡状態の解析」、日本原子力学会誌35、420 ( 1993 )
- (30) 塚本政樹、大江俊昭 : 「緩衝材・埋め戻し材中核種移行挙動解析コードGESPERの開発」、(財)電力中央研究所 研究報告T90011、平成2年11月
- (31) Dzombak, D. A, Morel, F. M., " Surface Complexation Modeling, Hydrous Ferric Oxide ", Willey Interscience, New York, 1990.
- (32) Sposito, G., " The Surface Chemistry of Soils ", Oxford University Press, New York, 1984.
- (33) 塚本政樹、大江俊昭、藤田智成、Hesbol, R., Hermansson, H.-P. : 「高レベル放射性廃棄物地層処分時人工バリア安全評価コードの検証」、(財)電力中央研究所 研究報告T91077、平成4年6月
- (34) Ohe, T., Tsukamoto, M., Fujita, T., Hesbol, R. and Hermansson, H.-P., Temperature and pH dependence of neptunium(V) sorption on bentonite. Proceeding of 1993 International Conference on Nuclear Waste Management and Environmental Remediation. Prague, Czechoslovakia. Vol.1, p.197 ( 1993 )
- (35) Tsukamoto, M., Ohe, T., Fujita, T., Hesbol, R., Hermansson, H.-P., Diffusion of neptunium(V) in loosely compacted bentonite., Radiochimica Acta, 66/67, 397( 1994 )
- (36) 藤田智成、塚本政樹、大江俊昭、中山真一、坂本義昭 : 「含鉄鉱物へのネプツニウムの吸着挙動評価」、(財)電力中央研究所 研究報告T93100、平成6年5月
- (37) Fujita, T., Tsukamoto, M., Ohe, T., Nakayama, S. and Sakamoto Y., Modeling of neptunium(V) sorption behavior onto iron-containing minerals. Mat. Res. Soc. Symp. Proc. 353, 965( 1995 )
- (38) 塚本政樹 : 放射性廃棄物地層処分の安全性研究における放射性核種の移行挙動解析 - 表面錯体生成モデルの適用の試み - 、保物誌、31, 297( 1996 )
- (39) Tsukamoto, M., Fujita, T., Ohe, T., Mechanistic modeling for description of actinide sorption at the buffer materials/water interface, J. Nucl. Mat., 248, 333 ( 1997 )
- (40) Fujita, T., Tsukamoto, M., The effect of carbonate ions on sorption of Europium onto iron oxides, Mat. Res. Soc. Symp. Proc. 465, 781( 1997 )
- (41) 塚本政樹、藤田智成 : 「高レベル放射性廃棄物地層処分におけるオーバーパック腐食生成物へのTRUおよびFPの吸着挙動」、(財)電力中央研究所 研究報告U97030、平成9年10月
- (42) 塚本政樹、大江俊昭、藤田智成 : 「人工バリアシステム安全評価簡易解析コードの改良」、(財)電力中央研究所 研究報告T92011、平成4年12月
- (43) Tsukamoto, M., Ohe, T., Fujita, T., The effect of degradation of buffer material on radionuclide release from engineered barrier system for high-level waste disposal, Proceeding of 1995 International Conference on Nuclear Waste Management and Environmental Remediation. Berlin, Germany. Vol.1, pp.807-813( 1995 )
- (44) Tsukamoto, M. and Fujita, T., The role of corroded iron overpack materials on the radionuclide release from engineered barrier systems for high-level waste disposal, 1999 International Conference on Nuclear Waste Management and Environmental Remediation. Nagoya( 1999 )
- (45) Tsukamoto, M. and Fujita, T., Uncertainty analysis of performance of engineered barrier system for geological disposal of high-level waste, 1997 International Conference on Nuclear Waste Management and Environmental Remediation. Singapore, pp.309-314( 1997 )
- (46) (財)電力中央研究所、電気事業連合会 : 高レベル放射性廃棄物地層処分の事業化技術、1999
- (47) 五十嵐敏文、塚本政樹、藤原啓司、植田浩義、池田孝夫、斎藤茂幸 : 「高レベル放射性廃棄物処分の事業化技術 - その8 処分施設のバリア性能評価手法と安全評価 - 」、原子力バックエンド研究、Vol.5、No.2、pp.169-198、1999
- (48) 五十嵐敏文、田中靖治、河西基、宮川公雄 : 「スウェーデン・ハードロック地下研究施設における高レベル廃棄物処分のための国際共同研究(その2) - 長期揚水・トレーサ移行試験に対する3次元スミアード割れ目モデルの適用 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U94054、1995
- (49) 田中靖治、宮川公雄、五十嵐敏文 : 「スウェーデン・ハードロック地下研究施設における高レベル廃棄物処分のための国際共同研究(その5) - トンネル掘削が地下水流動に与える影響に関する数値解析 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U99064 ( 2000 )
- (50) 田中靖治、駒田広也、河西基、伊藤洋 : 「透水係数の空間分布を考慮した確率論に基づく地下水流動解析手法の開発」、(財)電力中央研究所 研究報告U94024 ( 1994 )
- (51) Tanaka, Y., Hasegawa, T. and Kawanish, M. : Numerical analysis with FEGM/FERM for TRUE-1 non-sorbing tracer tests, SKB International Cooperation Report 97-07, 1997.
- (52) 河西基、田中靖治、五十嵐敏文 : 「高レベル放射性廃棄

物地層処分の天然バリア性能評価手法の開発（その1） - 割れ目系岩盤中の地下水流動解析手法 - 」（財電力中央研究所 研究報告U93054（1994）

- (53) 河西基、五十嵐敏文、田中靖治：「高レベル放射性廃棄物地層処分の天然バリア性能評価手法の開発（その2） - 割れ目系岩盤中の熱および核種の移行解析手法 - 」（財電力中央研究所 研究報告U94053（1995）
- (54) Igarashi, T., Tanaka, Y. and Kawanishi, M. : Application of three-dimensional smeared fracture model to the groundwater flow and the solute migration of LPT-2 experiment, SKB International Cooperation Report 94-08, 1994.
- (55) Tanaka, Y., Miyakawa, K., Igarashi, T. and Shigeno, Y. : Application of three-dimensional smeared fracture model to the hydraulic impact of the Aspo tunnel, SKB International Cooperation Report 96-07, 1996.
- (56) 田中靖治、長谷川琢磨、五十嵐敏文、宮川公雄：「結晶質岩中の単一割れ目を対象としたトレーサー試験および解析」、第30回岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集、pp.253-257、2000
- (57) 馬原保典、五十嵐敏文、宮川公雄、田中靖治、木方建造、長谷川琢磨：「スウェーデン・ハードロック地下研究施設における高レベル廃棄物処分のための国際共同研究（その3） - トンネル掘削が及ぼした地下水環境の動的変化 - 」（財電力中央研究所 研究報告U98035（1999）
- (58) Mahara, Y., Igarashi, T., Miyakawa, K., Kiho, K., Tanaka, Y. and Hasegawa, T. : Dynamic changes in groundwater conditions caused by tunnel construction at the Aspo Hard Rock Laboratory, Sweden, SKB International Cooperation Report 98-04, 1998.
- (59) 五十嵐敏文、馬原保典：「自然環境中の安定同位元素を用いた放射性核種分配係数測定法の提案」、（財電力中央研究所 研究報告U95025（1996）

### 第3章

- (1) 共同作業チーム（核燃料サイクル開発機構、電気事業連合会）：「TRU廃棄物処分概念検討書」、平成12年3月
- (2) 杉山大輔、藤田智成、中西潔：「水との接触によるセメント水和物の化学的変質」、（財電力中央研究所 研究報告U99044（2000）
- (3) Iriya, K., et al. : The Study on Applicability of HFSC for Radioactive Repositories, Proc. ICEM 99, 1999.
- (4) 杉山大輔、藤田智成、中西潔、J.A.Berry、S.J.Williams : 「セメント水和物へのアクチニド元素収着挙動の実験的検討 - 溶解によるセメント水和物変質の影響 - 」（財電力中央研究所 研究報告U99045（2000）
- (5) 杉山大輔、藤田智成：「熱変成によるセメントの核種収着性能の変化」、（財電力中央研究所 研究報告U97106、平成10年8月

- (6) 藤田智成、杉山大輔、S. W. Swanton : 「放射性廃棄物処分の性能評価に与えるコロイドの影響 - セメントからのコロイドの発生とその特性評価 - 」（財電力中央研究所 研究報告U99057（2000）
- (7) K. Iriya, et al., The Study on Applicability of HFSC for Radioactive Repositories, Proc. ICEM 99（1999）
- (8) 塚本政樹、藤田智成：「セメント系材料との相互作用による岩石および緩衝材の変質反応シミュレーション」、（財電力中央研究所 研究報告U99046（2000）

### 第4章

- (1) 広永道彦：「放射性廃棄物処分の将来展望とコンクリート技術」、日本コンクリート工学協会誌Vol.37, No.3,（1999）
- (2) 広永道彦、遠藤孝夫：「モルタルの硫酸ナトリウム反応による劣化機構に関する実験的検討」、電力中央研究所 研究報告U93009（1993）
- (3) 平井光之、広永道彦、他：「飽和モルタル試験体の透気特性 - 破過圧の定義 - 」、土木学会全国大会概要集、（2000）
- (4) 広永道彦、平井光之、他：「飽和モルタル試験体と細孔径分布との関係に関する考察」、土木学会全国大会概要集、（2000）
- (5) 広永道彦、河西基：「劣化の進行を考慮したコンクリート構造物の長期止水性能評価手法の提案」、（財電力中央研究所 研究報告U95062（1996）
- (6) 馬原保典、河西基、垣内弘幸、五十嵐敏文、佐伯明義：「地球化学的手法を用いた地下水流動調査手法の提案 - 六ヶ所サイトの地下水流動特性の把握 - 」、（財電力中央研究所 研究報告U95044、平成8年3月
- (7) 駒田広也・馬原保典・河西・五十嵐敏文・志田原・満木：「低レベル放射性廃棄物陸地処分の安全評価手法の開発」、（財電力中央研究所 総合報告U15（1999）
- (8) 河西基・田中靖治・五十嵐敏文：「放射性廃棄物処分に関わる地下水流動・核種移行解析手法の開発」、日本地下水学会秋期講演会（1995）

### 第5章

- (1) 廣永道彦、河西基、金津努、尾崎幸男、隅谷尚一：「解体コンクリートの再利用方策」、第5回動力・エネルギー技術シンポジウム、日本機械学会、平成8年11月
- (2) 廣永道彦、河西基、尾崎幸男：「解体廃棄物の再利用成立性に関する検討」、第6回動力・エネルギー技術シンポジウム、日本機械学会、平成10年11月
- (3) M. Hironaga, S. Ozaki, M. Hirai, et al., "Development of Decommissioning-Recycle Simulator for Nuclear Power Station", Eighth International Conference on Nuclear Engineering, Baltimore Maryland USA, April, 2000
- (4) 廣永道彦、尾崎幸男、他：「解体コンクリート廃棄物の

再利用成立条件に関する検討」、第7回動力・エネルギー技術シンポジウム、日本機械学会、平成12年11月

- (5) 廣永道彦、尾崎幸男、他：「原子力発電所における廃止措置・リサイクルシミュレータの開発」、第7回動力・エネルギー技術シンポジウム、日本機械学会、平成12年11月

## 第6章

- (1) 馬原保典：「溶存希ガスを用いた地下水年代測定法の開発 - 溶存会ガス地下水調査法の体系化 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U97052 (1998)
- (2) 馬原保典、中田英二、田中和広、長谷川琢磨、三浦大介：「火山活動が高レベル処分のための天然バリアの地下水環境に及ぼす影響評価 - 火山活動-文献調査と岩手山における地下水調査 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U99062 (2000)
- (3) 藤田英樹、野口聡、広永道彦：「アーウィン系低アルカリ性セメントの開発」、(社)日本原子力学会 1998年秋の大会
- (4) 「プラズマ加熱を用いた低レベル放射性雑固体廃棄物の一括溶融処理技術」、(財)電力中央研究所 総合報告、W12 (1998年)

## 第7章

- (1) 小松進一、他：「高燃焼度使用済燃料輸送物の規則適合試験と評価手法の提案」、(財)電力中央研究所 研究報告U98010 (1998)
- (2) 白井孝治、伊藤千浩：「返還廃棄物用輸送容器の落下衝撃に対する健全性の検討 - 容器と収納物の連成落下衝撃簡易解析手法の開発 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U88068 (1989)
- (3) 山川秀次、巨真澄：「放射性物質輸送容器の熱解析用CRISCATコードの開発」、(財)電力中央研究所 研究報告U93006 (1993)
- (5) Wataru M. et al., "Safety of the Package of Natural UF6 under Fire Conditions", Proc. PATRAM 95, Vol.4, 1995, pp.1563-1570.
- (6) Sert G. et al., "TENERIFE Program: Thermalphysical Behavior of UF6 in a Transport Container under Fire Conditions", Proc. PATRAM 95, Vol.4, 1995, pp.1595-1602.
- (7) Kosaki A. et al., "Material Properties of a natural UF6 Transport Cylinder Vessel at High Temperature", Int. J. of Radioactive Materials Transport, Vol.5, Nos.2-4, 1994.
- (8) Shirai K. et al., "Mechanical Evaluation of a Natural UF6 Transport Cylinder Vessel at High Temperature", SMiRT14, Div.L, Lyon, France, 1997.
- (9) 津旨大輔、他：「MOX新燃料の輸送時安全性評価 - 輸送

物の仮想的海没時被ばく線量評価 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U98029 (1999)

- (10) Tsumune, D. et al., Estimated radiation dose from a MOX fuel shipping package that is hypothetically submerged into sea. RAMTRANS, in printing.
- (11) Watabe, N., et al., An Estimation Method of Marine Accident Probability for Exclusive-Use Ships., RAMTRANS, Vol.9 111-121, 1998.
- (12) 伊藤千浩、他：「MOX新燃料の輸送時安全性評価 - 輸送容器の耐水圧性能 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U98027 (1999)
- (13) 伊藤千浩、他：「MOX新燃料の輸送時安全性評価 - 燃料被覆管の耐水圧性能 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U98028 (1999)
- (14) 津旨大輔、他：「海洋大循環モデルを用いた海洋中核種濃度評価手法の開発」、(財)電力中央研究所 研究報告U99007 (1999)
- (15) 山川秀次：「放射性物質輸送物の海面火災条件下における熱的健全性 - 船倉ハッチカバー材料の熱特性 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U98067 (1999)
- (16) 山川秀次：「同上 - 高レベルガラス固化体輸送物の熱的健全性 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U99031 (2000)

## 第8章

- (1) 三枝利有、他：「原子力発電所構内キャスク貯蔵の検討」(財)電力中央研究所 総合報告No.U27、(1993)
- (2) 総合エネルギー調査会原子力部会中間報告：「リサイクル燃料資源中間貯蔵の実現に向けて」平成10年6月11日
- (3) 通商産業省資源エネルギー庁冊子：「使用済燃料の中間貯蔵について」(1999)
- (4) 山地憲治、長野浩司、三枝利有：「使用済燃料乾式貯蔵技術の検討・評価 - 各種貯蔵技術の経済性比較 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告L87001 (1987)
- (5) 「原子力発電所使用済燃料貯蔵技術確証試験」成果報告書 (平成9年度通商産業省委託研究)平成10年3月、(財)電力中央研究所、U999710 (1998)
- (6) 竹田浩文、古賀智成、巨真澄、坂本和昭：「キャスク貯蔵施設の除熱性能の実証に関する研究 - スタック方式施設の除熱試験 - 」、(財)電力中央研究所 依頼報告U99505 (2000)
- (7) 竹田浩文、古賀智成、巨真澄、坂本和昭：「キャスク貯蔵施設の除熱性能の実証に関する研究 - スタック方式施設の除熱試験解析 - 」、(財)電力中央研究所 依頼報告U99506 (2000)
- (8) 竹田浩文、古賀智成、巨真澄、坂本和昭：「使用済燃料用金属キャスク貯蔵施設の除熱特性 - スタック方式施設の除熱特性試験 - 」、原子力学会 2000年秋の大会D41、青森大学
- (9) 白井孝治、巨真澄、三枝利有：「チャンネルボックス付

- き使用済燃料の貯蔵字熱特性評価」、原子力学会 1997 年秋の大会E87、沖縄
- (10) JIS G 5502 :「球状黒鉛鋳鉄品」平成 7 年 7 月 1 日改正、日本工業標準調査会 審議(日本工業規格)
- (11) IAEA Safety Standards Series No. TS-G-1,“ Appendix VI Guidelines for Safe Design of Shipping Packages against Brittle Fracture, Advisory Material for the IAEA Regulations for the Safe Transport of Radioactive Material (1996 Edition)(7 July 2000 Draft)
- (12) 三枝利有 :「使用済燃料貯蔵研究」および松村哲夫 :「使用済燃料貯蔵のための燃焼度クレジット導入方策並びに高燃焼度・MOX燃料特性試験」、平成 9 年度 電力中央研究所 研究発表会 - 原子力部門 - 予稿集
- (13) 安島辰郎、小崎明郎、猪原康人、横山速一 :「高性能中性子吸収構造材を用いた高燃焼度・MOX使用済燃料貯蔵用バスケット」、日本原子力学会誌 Vol.39, No.2, p.156-165 (1997)
- (14) Kosaki, A. and Saegusa, T.,“ Fracture Mode Test of Ductile Cast Iron for Casks”, Proc. 9<sup>th</sup> Int l. Conf. Fracture( ICF-9) Vol.5, p.2471-2478(1997)
- (15) 小崎明郎、三枝利有 :「半楕円表面亀裂付き小型試験片による使用済燃料貯蔵容器材料の延性破壊試験」、原子力学会 1994年秋の大会B62
- (16) 三枝利有、他 :「使用済燃料の乾式貯蔵技術の動向」、日本原子力学会誌、Vol.37、No.8、p.675 (1995)
- (17) 加藤治、伊藤千浩、三枝利有 :「使用済燃料貯蔵キャスクの長期密封性能評価手法の開発」、日本原子力学会誌、Vol.38、No.6、p.95 (1996)
- (18) 坂本和昭、他 :「使用済燃料用金属キャスク貯蔵施設の除熱特性試験」、日本原子力学会誌、Vol.40、No.12、p.966 (1998)
- (19) Sakamoto, K. et al,“ Heat Removal Characteristics of Vault Storage System with Cross Flow for Spent Fuel”, Nucl. Eng. Design, 195, p.57 (2000)
- (20) 坂本和昭、他 :「乾式貯蔵施設の除熱設計評価手法の開発(その 1) - 直交流方式ボルト貯蔵システムの除熱特性試験 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U97047 (1997)
- (21) 坂本和昭、他 :「同上(その 3) - キャスク貯蔵施設の除熱特性試験 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U98003 (1998)
- (22) 坂本和昭、他 :「同上(その 4) - 直交流方式ボルト貯蔵システムの熱流動解析手法の構築 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U98031 (1999)
- (23) 「軽水炉燃料のふるまい」、(財)原子力安全研究協会(平成 10年)
- (24) 三枝利有 :「使用済燃料の乾式中間貯蔵の現状と課題」、原産セミナー予稿集、日本原子力産業会議(平成12年)
- (25) 小松進一、三枝利有、五十嵐敏文 :「使用済燃料の岩盤貯蔵概念の予備的検討」、(財)電力中央研究所 研究報告 U98002 (1998)
- (26) 三枝利有 :「わが国における使用済燃料貯蔵研究と今後の課題」、原子力eye、Vol.44、No.4、p.14 (1998)

## 第 9 章

- (1) 小崎明郎 :「炭素鋼の腐食寿命評価(その 1) - 自然水環境における実測腐食領域図とすきま腐食電位 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U94044 (1995)
- (2) 小崎明郎、猪原康人 :「耐食合金のすきま腐食発生条件の評価 - 自然水環境におけるすきま腐食領域図 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U97029 (1997)
- (3) 「プルトニウム輸送容器等安全性実証試験 - 仮想海没事故時の輸送容器の腐食評価 - 」1999年度成果 (財)電力中央研究所 我孫子研究所 (2000)
- (4) Ohe, K. and Saegusa, T. :“R&D Program of Spent Fuel Storage Technology : CRIEPI's perspective”, Proc. Spent Fuel Management SeminarXVII, Jan. 12-14, 2000, Washington D. C.
- (5) 渡部直人 :「放射性物質輸送の確率論的安全評価(その 1)」、(財)電力中央研究所 研究報告U93036 (1994)
- (6) 渡部直人、高野裕 :「放射性物質輸送の確率論的安全評価(その 2)」、(財)電力中央研究所 研究報告U97008 (1997)
- (7) 渡部直人、鈴木浩 :「放射性物質輸送の確率論的安全評価(その 5)」、(財)電力中央研究所 研究報告U98037 (1999)
- (8) 渡部直人 :「放射性物質輸送の確率論的安全評価(その 6)」、(財)電力中央研究所 研究報告U99058 (2000)
- (9) 巨真澄、他 :「使用済燃料貯蔵時の廃熱エネルギー利用のフィージビリティスタディ」、(財)電力中央研究所 研究報告U97023 (1997)
- (10) 巨真澄、他 :「使用済燃料貯蔵時の放射線エネルギー利用のフィージビリティスタディ」、(財)電力中央研究所 研究報告U97024 (1997)
- (11) 大江耕一郎、加藤治、三枝利有 :「原子力発電所の解体金属廃棄物のキャスクへの再利用の予備的検討」、(財)電力中央研究所 調査報告U98060 (1999)
- (12) 伊藤千浩、白井孝治、服部清一 :「劣化ウランを混入した重コンクリートの実用化の検討」、(財)電力中央研究所 研究報告U94002 (1994)
- (13) 伊藤千浩、他 :「劣化ウランを混入した重量コンクリートの圧縮強度と遮へい性能」、(財)電力中央研究所 研究報告U989602 (1998)
- (14) 三枝利有、他 :「使用済燃料のコンクリートキャスクによる貯蔵技術確証試験の概要」、原子力学会 2000年秋の大会D27、青森大学
- (15) 白井孝治、他 :「コンクリートキャスクの耐熱性能に関する検討(1) : 高温下における材料物性試験評価」、原子

力学会 2000年秋の大会D28

- (16) 上野学、他：「同上(2)：RC円筒構造物の熱応力試験評価」、原子力学会 2000年秋の大会D29
- (17) 上野学、他：「同上(3)：RC円筒構造物の温度ひび割れ解析評価」、原子力学会 2000年秋の大会D30
- (18) 亘真澄、他：「同上(4)：RC円筒構造物や2層円筒構造物の熱応力試験評価」、原子力学会 2000年秋の大会D31
- (19) 奥村愛一郎、他：「コンクリートキャスクの遮へい性能に関する検討(1)：ひび割れが遮へい性能に及ぼす影響」、原子力学会 2000年秋の大会D32
- (20) 柳下拓也、他：「同上(2)：キャスク配列が遮へい性能に及ぼす影響」、原子力学会 2000年秋の大会D33
- (21) 奥村愛一郎、他：「同上(3)：MCNP-4Bによる分散低減法の適用と計算誤差評価」、原子力学会 2000年秋の大会D34
- (22) 松村卓郎、他：「コンクリートキャスクの耐久性能に関する検討(1)：高温下における耐久性試験評価」、原子力学会 2000年秋の大会D35
- (23) 長野浩司、他：「使用済燃料貯蔵の技術変遷に関する理論的考察」、原子力学会 2000年秋の大会D36
- (24) 笹原昭博、他：「使用済燃料の貯蔵時の健全性評価試験(2)」、原子力学会 2000年秋の大会M31
- (25) 白井孝治、他：「コンクリート強度のひずみ速度依存性

の定式化(その1) - ホブキンソン棒法式衝撃試験方法の適用と圧縮強度試験結果 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U97046(1998)

## 第10章

- (1) 宮川公雄：「スウェーデン・ハードロック地下研究施設における高レベル廃棄物処分のための国際共同研究(その1) - 事前調査期のサイト特性調査の考え方とその手法 - 」、(財)電力中央研究所 調査報告U94005(1994)
- (2) 五十嵐敏文、田中靖治、河西基、宮川公雄：「同上(その2) - 長期揚水・トレーサー移行試験に対する3次元スミアード割れ目モデルの適用 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U94054(1995)
- (3) 馬原保典、五十嵐敏文、宮川公雄、田中靖治、木方建造、長谷川琢磨：「同上(その3) - トンネル掘削が及ぼした地下水環境の動的変化 - 」、(財)電力中央研究所 研究報告U98053(1999)
- (4) 河西基、他：「同上(その4) - サイト特性の調査・評価技術と天然バリア性能評価手法の実証 - 」、(財)電力中央研究所 総合報告書U37(2000)